

# かわさきチャレンジ・3Rニュース

キレイクン

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



第10号

平成21年3月発行



## 家庭から出るごみの種類・割合はどうなっているの？

### ～市民ごみ排出実態調査結果(速報版)からみた川崎市の家庭系ごみ～

市では、市民の家庭生活から発生するごみ(粗大ごみを除く)の量や質を把握・検証し、今後の分別収集や減量化施策を検討するため、5年に1度、「市民ごみ排出実態調査」を実施しています。この調査実施年にあたる昨年10月に調査を行い、家庭から出るごみの種類や割合を集計しました。

#### ◇◇家庭からどんなごみが出ているの？◇◇

家庭から出るごみは、紙類(36.9%)、生ごみ(29.8%)、プラスチック類(13.8%)で全体の8割以上を占めています。(図1)

このため、家庭でできるごみの減量には、地域で行われている資源集団回収への協力や、生ごみの減量が有効であることが分かります。

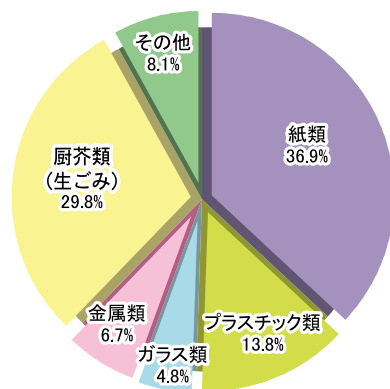


図1 家庭から出るごみの組成(重量比)

#### ◇◇リサイクルが可能なごみの割合とは？◇◇

ごみとして出されたものの中で、リサイクルが可能なごみ※は55.4%を占めています。

このうち、紙類(新聞、雑誌・書籍、ダンボール、紙パック、容器包装材、チラシ・ダイレクトメール等)の割合が最も多く33.1%を占めました。(図2)

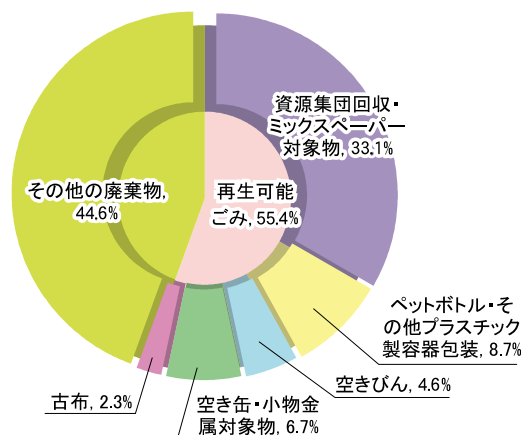


図2 ごみの中でリサイクルが可能な割合(比率%は、小数点第二位を四捨五入しています。)

- ※「リサイクルが可能なごみ」とは…
- ・市の分別収集品目
  - ・資源集団回収の対象品目
  - ・ミックスペーパー(22年度中に全市で分別収集予定)
  - ・その他プラスチック製容器包装(22年度中に一部地域でモデル収集予定)



家庭から出るごみも色々な種類があるんですね。市ではごみの減量・リサイクルをさらに進めていくため、今後、ミックスペーパーやその他プラスチック製容器包装の分別収集を行う予定です。市民の皆様も、資源集団回収への協力やごみ出しの際の分別の徹底、生ごみの水切りといったことから、ごみの減量・リサイクルにぜひご協力をお願いします。